



## 【石について】

松阪市の昔話に、このような話があります。  
「はるか大昔、白馬に乗って旅をしていた天照大神は、水屋の森の天児屋根命に、伊勢と大和の国境を尋ねました。その答えに疑問を持った大神は、石を川に投げて波のとどまるところを国境にしようと思つかけると、大きな石を軽々と持ち上げ、櫛田川に投げ入れました。川の水は大きな水柱をあげ、波は勢いよく川上に逆流し、とうとう高見山に達しました。この日より、高見山を伊勢と大和の国境と決め、大神が投げた（現在の松阪市飯高町赤桶地内の）櫛田川にある大石を礮石と呼ぶようになりました。」（「松阪市」と「観光三重」のホームページを要約して引用。）

昔話を紐解くまでもなく、人は古くから石と深く関わってきました。自然のままの石を、獲物を捕る、敵を倒す、遊ぶ、などの目的で投げたり、石垣（野面積み）や賽の河原の積み石のように積み上げたりするなど、様々に使用してきました。また、石を加工して、生活用具や武器、古墳の石室や石垣、お地蔵様などを作り上げてきました。石で出来たモノは、今でも沢山目にすることが出来ます。ただし、時代が古くなればなるほど、目にすることが出来るモノは少なくなります。

はにわ館では、夏季企画展「石と木」（第2展示室）を7月19日（土）から8月31日（日）まで開催します。私たちの祖先が自然の産物を工夫してどのようなモノを作り、どのように使ってきたのか、主に松阪市の遺跡から出土した資料から、その歩みを見てゆきます。奮ってご来館ください！（担当）

いしやり  
①石槍

せきぞく  
②石鏃

せきぞく こくようせき  
③石鏃（黒曜石）

★松阪市文化財センター正面入り口の中に展示してある石器（夏季企画展「石と木」で展示するものとは異なります。）

いしさじ  
④石匙

せきふ  
⑤石斧（国外で採集されたもの）

せきぼう  
⑥石棒

※モノの長さは①約 10.5cm、②約 3cm、③約 2.7cm、④約 5cm、⑤約 15cm、⑥約 36cm。

## 【遠くをみる巫女に……】



じょうこほだにこらん みこ  
常光坊谷古墳 巫女

水田が広がりはじめた弥生時代、稲は早苗から生長し、田を吹き渡る風にその柔らかな緑の葉はかさかさとして揺れている。  
巫女は天候に動かされやすい稲の生長を祈り続けたいだろう。それが人々の幸せに強くつながっているから。まだまだ後世のように米は主食でないにしても保存の利く重要な糧として、豊かさの証として大切なものだったろう。  
人々は遠くを見つめる巫女に願いを重ねあわせ、畏敬の目で見つめていた。

鈴の森公園にはまるで主のようにケヤキの大木が立っています。その樹冠はほどよい緑陰を作り、木の精の存在を予感させます。晴れた日、朝露にぬれる朝に公園を見渡す心地よさほどもすばらしいものです。公園内の歩道から、文化財センターに入ると、レンガ造の建物が静かな佇まいでお迎えしています。ぜひ散策の途中にお寄り下さい。

はにわ館の夏季企画展「石と木」では、大昔の人たちの生活の知恵をご覧ください。市民ギャラリーは今月も下記のように多くの展示会が開かれます。

なおギャラリーは7月15日から8月3日まで空調機器の整備のため休廊します。（所長）

## 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 7月の催し物予定

7月の休館日は7日（月）、14日（月）、22日（火）、28日（月）です。  
開館時間は9時～17時です（入館は16時30分まで）。



バーコード読み取り  
（文化財センター情報）

### 【はにわ館】 入館料 100円（18歳以下無料）

- 第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 ■夏季企画展「石と木～何を作って、どう使う～」 7/19（土）～8/31（日）
- 第2展示室 ■展示説明会「石と木～何を作って、どう使う～」 7/19（土） \*13:30～14:30

### 【ギャラリー】 入場無料

- 第3G ■映画監督小津安二郎資料展～小津家・家族との絆～  
6/24（火）～7/2（水） \*10:00～16:00 \*最終日は12:00まで
- 第1・2G ■第4回三重県在住風景写真家展 6/28（土）～7/6（日） \*9:00～16:30 \*最終日は15:00まで
- 第3G ■トライアングル展 7/6（日）～7/13（日） \*9:00～17:00 \*最終日は16:00まで
- 第2G ■全日本写真連盟 88支部 第30回写真展  
7/9（水）～7/13（日） \*10:00～17:00 \*最終日は16:00まで
- 第1G ■ポーセラーツ作品展 7/11（金）～7/13（日） \*9:30～17:00 \*最終日は14:00まで